

報道機関 各位

令和 4 年 1 月 19 日

2016 年以来の大雪害！ 暴風雪で輸血医療に危機感！

1月12日より北海道を襲った暴風雪により、献血バスの運行中止や献血者の減少、それに加え血液製剤の需要も伸びていることから輸血用血液製剤の在庫数が注意報水準[※]に入りました。

2016年12月23日には札幌市で積雪が96cmに及び記録的な大雪となり、12月の実績としては400mL献血で237人の不足に留まりましたが、今回はコロナ禍もあり1月1日から18日までの実績で400mL献血の計画数に対し826人不足しています。

北海道では、医療機関に安定して輸血用血液製剤をお届けするには、このコロナ禍にあっても1日約700人以上を必要としており、必要在庫に戻すためにはそれ以上の協力が必要です。

つきましては、現状をご理解いただき取材いただけますようお願いいたします。

※適正在庫の70%（血液センターでは、100%以上の在庫を維持しなければ、医療機関への供給に支障をきたす恐れがあります）

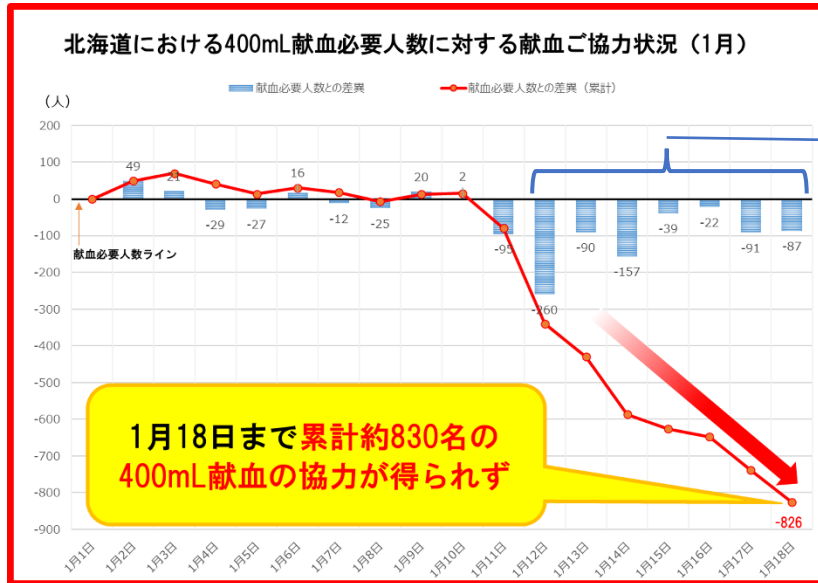
【お問い合わせ】

北海道赤十字血液センター献血推進課 <担当>土田（ツチダ）、向野（ムカイノ）
電話：011-613-8335 FAX：011-613-8824

◎ 暴風雪の影響

① 1月12日（水）に献血実施を予定していたバスが3台（釧路管内・帯広管内・北見管内）と札幌市内の2会場が中止。

- ・ 鶴居村：400mL 計画数 35人 ・ 音更町：400mL 計画数 37人
- ・ 紋別市：400mL 計画数 42人
- ・ 札幌市内2事業所キャンセル（バスの駐車場所確保できない）
→ 400mL 計画数 32人



1/12～18日までの400mL献血の累計実績は、

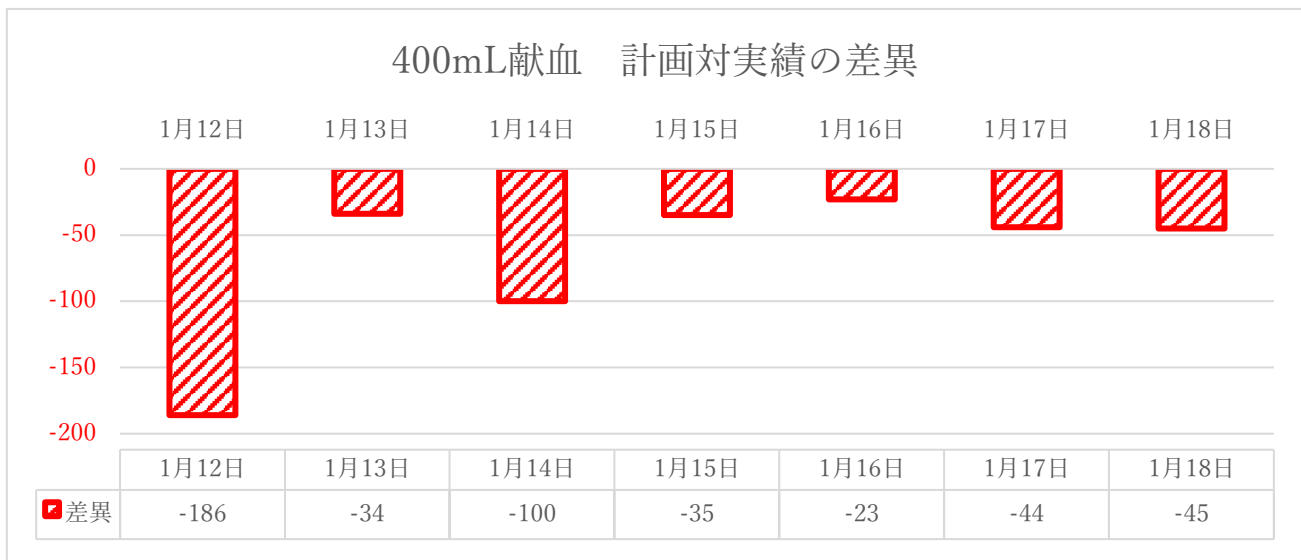
マイナス 746人

（献血バス+献血ルーム）

1月18日まで累計約830名の400mL献血の協力が得られず

② 献血バスの献血状況

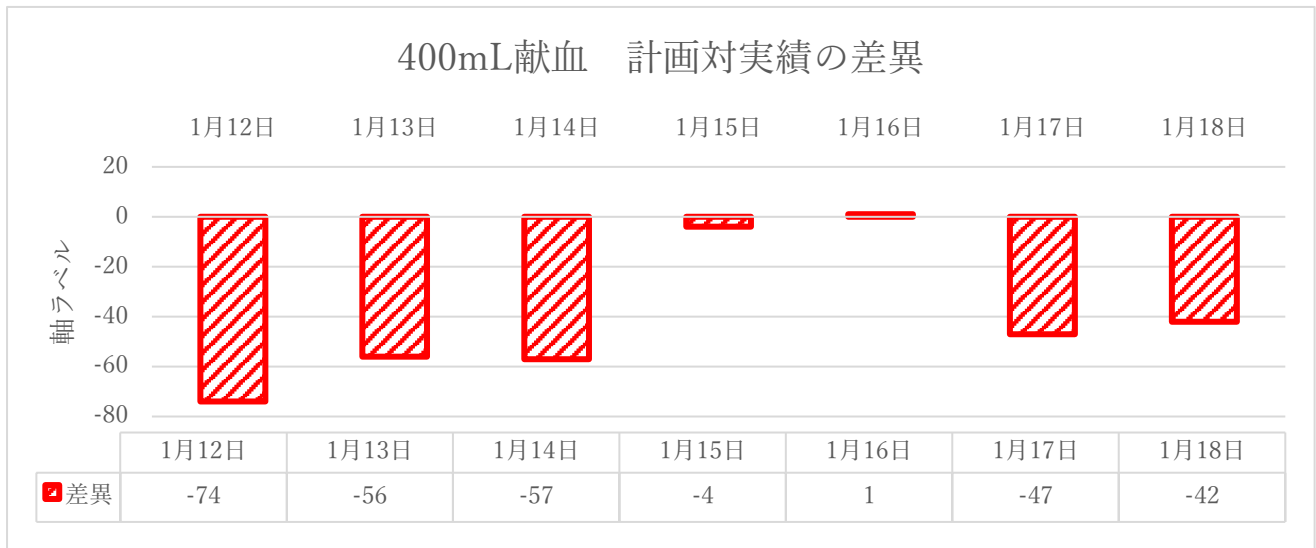
日々の400mL献血計画数に対して献血実績 1/12～18 累計 **マイナス 467人**



※道路状況が悪く、連日の渋滞が発生していることから献血バスの遅延が続き献血の受け入れに支障が出ている。

③ 献血ルームの状況

日々の 400mL 献血計画数に対して献血実績 1/12~18 累計マイナス 279 人



※車で来られる方が多い二十四軒の血液センター及び新さっぽろ献血ルームの協力が特に減少している。

④ 供給数が計画数及び昨年実績より増加している

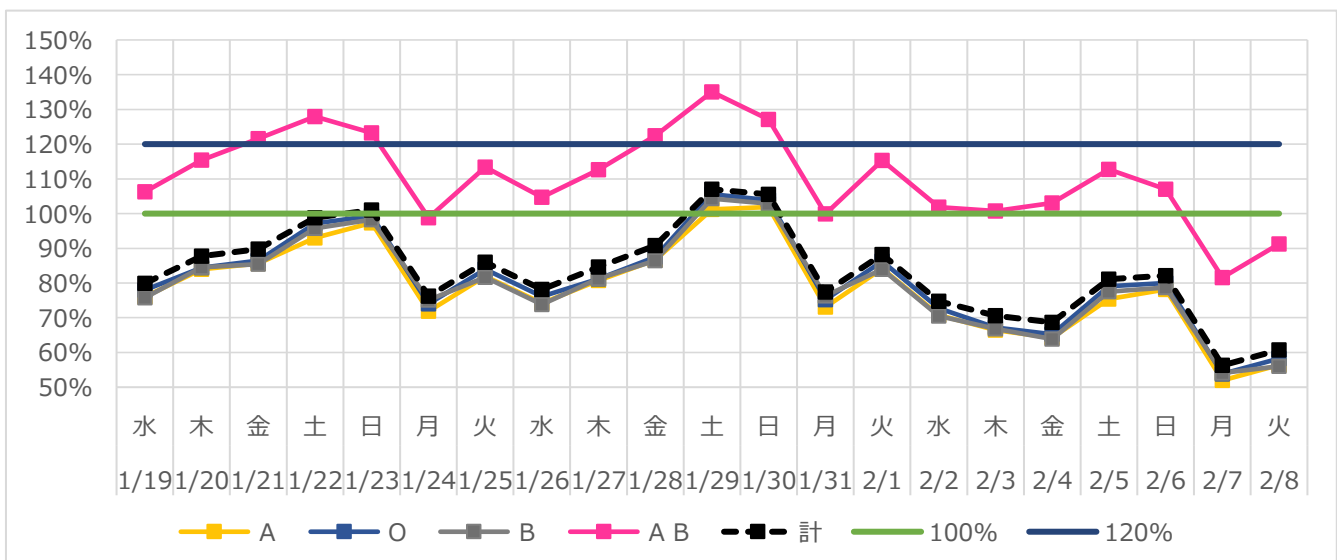
○ 2022 年 1 月 1 日～18 日の全血製剤供給実績

※全血製剤：200mL・400mL 献血由来の赤血球製剤

※200mL 献血由来を 1 単位、400mL 献血を 2 単位として算出

① 供給予測	7,890 単位
② 供給実績	8,295 単位
差異 ②-①	+405 単位
③ 2021 年 1/1 日～18 日実績 (昨年)	7,930 単位
差異 ②-③	+365 単位

以上のことから今後の血液製剤の在庫推移は下記のようにになると予測されます！



北海道民の皆様へお願い

1. 献血は「不要不急」の外出にはあたらないこと
2. 献血会場での「密」を防ぐためにも、予約献血をお願いしたいこと
3. 献血バスの運行が決定している企業・団体では必要数（計画数）以上の協力をいただきたいこと
4. 大通献血ルーム（1/20）とアスティ献血ルーム（1/27）の定休日に臨時開所（全血献血のみ受付）しますので、札幌中心部にお出かけの際には積極的なご協力を！
5. 新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力を
 - ・ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
 - ・ 入口にて体温測定を実施しています。
 - ・ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※コロナワクチン接種後は 48 時間献血ができません

アストラゼネカ社のワクチンはベクターワクチンのため現時点では献血不可